

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第3回 行政委員会委員の報酬の在り方検討会			
事務局 (担当課)	総務部職員課 (内線 2 2 5 8)			
開催日時	平成 2 2 年 8 月 4 日(水) 午後 2 時から午後 3 時 4 5 分まで			
開催場所	相模原市役所 2 階 第 2 委員会室			
出席者	委員	9 人 (石井委員、石川委員、追切委員、大野委員、河本委員 篠崎委員、谷口委員、千葉委員、西谷委員) 欠席 (豊浦委員)		
	事務局	5 人 (総務部長、職員課長、職員課担当課長他 2 名)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	(1) 行政委員会委員の報酬の在り方について (2) その他			

# 検 討 経 過

(1/3)

主な内容は次のとおり。（○は委員の発言、●は事務局の発言）

・会長あいさつ

・資料説明（職員課長）

（１）行政委員会委員の報酬の在り方について

《資料について》

○資料１から資料３までの内容に、固定資産評価審査委員会委員について  
標記されていない理由は。

●固定資産評価審査委員会委員の報酬は、法律で日額と規定されていること  
から、当該資料には標記していない。

○資料１から資料３までにあるように他団体の先例では、日額が均一の額で  
設定されているが、行政委員会ごとに職務が異なることから、日額を  
均一の額で設定することに疑問を感じる。

○議員が委員として選出されている場合に、議員報酬が支給されているこ  
とから、委員としての報酬をゼロとすることはできないか。

●委員としての報酬は法律により支給することとなっている。

○行政委員会委員に支給する報酬は、生活給でない。行政委員会委員は、  
他に仕事を持っている方々が就任されている場合が大半であるため、  
報酬額を全体的に引下げても良いと考える。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

# 検 討 経 過

(2/3)

《 日額制又は月額制について 》

○日額制が適当であると考え。しかし、日額の対象内容をどのように設定するかがポイントである。

○基本は日額制である。ただし、監査委員は1回の会議時間が長いこと、農業委員会は勤務日数が非常に多いことから、月額制が良いと考える。

○日額制とした場合、事前準備分も含めて報酬額を設定すべきである。  
また、1時間の会議であっても半日程度は拘束されてしまう。

日額制でも、時間の長さによって差を設けるべきではないか。

○例えば、裁判所調停委員では、日給2,500円に加えて資料作成時間に対する報酬もある。業務内容が知的労働であることから、会議への出席に対する日額だけでは報酬として不十分であると考え。

○日額制の場合、予算計上に係る問題は無いか。

●日額制の場合、行政委員会が執行機関でもあることから、臨時的なものや突発的なものも考えられることから、見込みでの計上となってしまう難しさはある。

《 報酬額の多寡について 》

○日額の根拠は、何を基準にすればよいのか。

●1つの目安としては、審議会委員である非常勤特別職の報酬が日額12,600円であり、他審議会委員は15,000円で設定しているものがある。

※ 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

# 検 討 経 過

(3/3)

○資料 1 及び資料 2 では、常勤監査委員の月額を日割りした額を計算の基礎としているが、これは 1 日 7 時間 4 5 分の勤務時間における日額の算出であるため、この日額は 1 回の会議を概ね半日とすれば、1 / 2 とする考えもあるのではないか。

○他審議会などでは委員の職に係わらず報酬額が設定されていることや、委員であれば拘束される時間は同様であることから、有資格者か否かを考慮せず委員は同額でよいと考える。

《その他》

○議員である者を委員とする場合の報酬は、額を考慮すべきである。

○議員選出の委員報酬について、一般論として「報酬が高い」という感覚があるものの、金額を設定する基準は難しい。

○現行報酬額は委員会ごとに差があることから、一定の時間を決め、その時間に達した場合を 1 回とみなす算定方法とすることにより、現在のとおり差を設けることができる。

○日額を定め、その日額を更に拘束時間に応じて額を増減する方法もある。

《まとめ》

○本日の意見を整理し、試案をまとめる。

(2) その他

次回検討会は、10月5日（火）午後の時間帯で開催する。

※ 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

## 行政委員会委員の報酬の在り方検討会 委員名簿

平成 22 年 2 月 9 日選任

氏名	選出団体における役職名	出欠 8.4
石井 元二	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会監事	出
石川 冬子	相模原市地域婦人団体連絡協議会会計監査	出
迫切 睦廣	相模原市自治会連合会理事	出
大野喜久子	相模原市消費者団体連絡会代表	出
会長 河本洋次	相模原商工会議所会頭	出
篠崎健一	相模原市農業協同組合専務理事	出
谷口優子	横浜弁護士会(相模原支部)弁護士	出
副会長 千葉東一	相模原地域連合議長	出
豊浦友子	相模原市食生活改善推進団体わかな会会長	欠
西谷八千代	みらい子育てネットさがみはら連絡協議会副会長	出

任期:平成 22 年 2 月 9 日から平成 22 年 11 月 3 日まで

(敬称略・五十音順)